BUFFALO™
Value Chain Engineering

目的・課題	業 種	導入商品
商品・サービス品質向上	サービス	Wi-Fi（無線LAN）


BS-GS2108


VR-U300W

株式会社ECC 心斎橋校 様

複数だった回線をセキュアな業務用回線に集約し、VLANでネットワーク分離。コストと機器管理の負担を軽減しながら用途別にWi-Fi環境を構築



導入先プロフィール（2026年5月現在）

法　人　名	株式会社ECC　心斎橋校
所　在　地	〒542-0086 大阪府大阪市中央区西心斎橋1丁目4番5号 御堂筋ビルディング8F
U　R　L	https://www.ecc.jp/school/osaka/shinsaibashi/

株式会社ECC(以下ECC)は英会話をはじめ幅広い語学学習の場を提供しています。対面レッスンを行なう教室では、セキュリティーの観点から一般通信回線を敷設して基幹業務に利用する社内業務回線とは物理的に分離していました。拠点数は約145校に及び、一般通信回線の契約コスト増大と機器管理負担が課題でした。相談を受けたバッファローは回線を1つに集約する構成を提案。VLANによりネットワークを仮想的に分離することでセキュリティーを担保しながら、有線接続のみだった社内業務回線にWi-Fi接続できる環境も追加。まずはニューオープンの心斎橋校で導入し、その後も随時全国へ整備を進める予定です。

導入前の課題と効果

課 題

・セキュリティーの観点から、社内・外で分離した複数の回線契約費が負担
・安心して利用できるセキュアな社内業務回線のWi-Fi環境が必要
・各校で独自に一般通信回線を契約していた為、本部での回線・機器管理が煩雑

対 策

業務で利用していた、既存の社内業務回線をVLANで分割して
用途別にネットワークを構成。「キキNavi」による遠隔からの機器監視体制を整備

効 果

・セキュアな社内業務回線に集約することで、回線契約費を削減
・Wi-Fi環境整備による社内システムへの円滑な接続で、業務効率が向上
・機器台数の削減と遠隔からの設定・管理により、担当部署の負担を軽減

POINT 選定のポイント

VLANで仮想的にネットワークを分割するとともに、
リモート管理サービス「キキNavi」で遠隔からの設定・管理が可能

お客様インタビュー

株式会社ECC
外語事業部 情報システム課

本部での把握が困難だった各校の個別回線を統一し遠隔監視。社内・外の通信をセキュアに接続できるWi-Fi環境が整い、業務効率が向上

概要

- 社内・外用回線をセキュアに集約
- 機器管理と業務の効率化を実現

解決策

- VLANでネットワークを仮想的に分割
- 技術者による的確な機器構成の提案

効果

- 回線集約で管理負担とコストを削減
- 社内業務回線でもWi-Fi利用が可能に

目標・課題

- 複数回線が混在するネットワーク
- 多くの機器による複雑な構成

複数契約による回線運用コストが負担

セキュリティーポリシーの観点から、本部が整備した基幹システムに接続できる社内業務回線と、一般生徒などが利用する通信回線を物理的に分けて構築。一般通信回線は各校ごとで独自にプロバイダ契約していたため拠点数の増加に伴い回線数と周辺機器費用も積み上がっていました。また、一般回線は機器や構成が不統一で、本部から全校の機器状態を把握するのに困難を極めていました。

複雑化した機器構成により管理の負荷が増大

株式会社ECC　外語事業部　情報システム課担当者（以下、ECC）は、「安全を重視する社内業務回線は有線接続のため利用範囲が制限され、席替えや新スタッフ加入のたびにLAN配線工事が必要でした。また、一般通信回線は個別契約の為、周辺機器も増え、週2回の頻度で不具合の報告もありました。障害原因も分かりにくく、全国に分布する拠点への対応には組織全体で多大なリソースが必要でした。」と話します。

1回線でセキュアな用途別通信環境を整備

バッファローの提案から、複数契約していた回線を、社内業務回線に集約。セキュリティーを担保するために社内・外の通信をVLANで分離して運用することで、回線のスリム化に成功。あわせて、これまで有線のみだった社内業務回線にもWi-Fiで接続できる環境を構築しました。管理する機器の台数が減って構成がシンプルになることに加えて、リモート管理サービス「キキNavi」を用いることで遠隔からの機器監視も可能になりました。

技術者参加による手厚い再整備計画の進行

ECCは「複数回に及んだ再整備の打ち合わせにはバッファロー技術者も同席し、課題や要望に対して丁寧で具体的な提案がありました。日々進化する通信分野において、技術者の直接サポートはとても心強く、自分たちだけでは難しかった課題を解決できました。」と、話します。

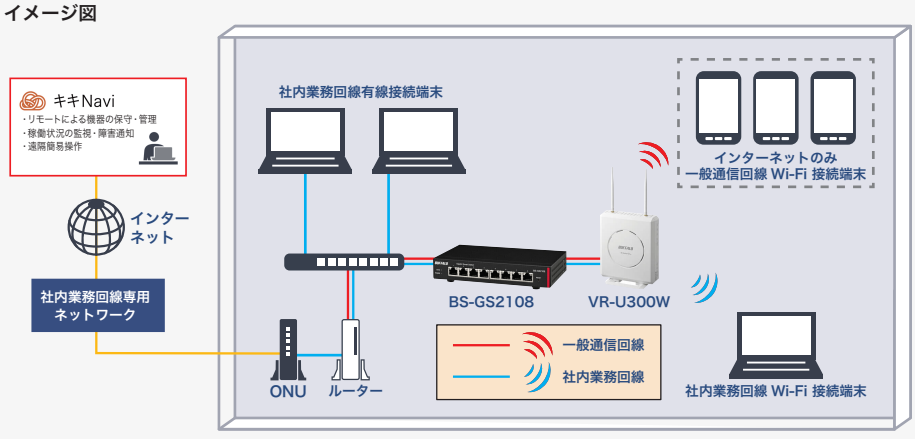
通信関連コスト削減と業務効率化を実現

新たな構成でネットワーク環境を整備した心斎橋校では、関連するランニングコストを低く抑えられています。社内業務回線のWi-Fi整備により、どの教室からも基幹システムへアクセスが可能となり、場所を選ばず業務ができることから自由度や効率が大きく向上。管理すべき機器も把握できるため、管理負担の削減につながりました。

効果的な導入プロセスとして全国への展開も

機器の設定方法はバッファローが作成し、ECCが「キキNavi」で設定しました。今後は同じ設定を「キキNavi」からネットワークを通して一括設定することができる為、心斎橋校の構成と運用手順を全国約145校へ一斉に展開することも見据えています。各校の再整備も、設定を簡単に行えるため、作業コストを大幅に抑えられます。さらに再整備後は「キキNavi」によるリモート管理が可能になり、トラブル対応へのリソース軽減などが期待できます。

イメージ図



「BS-GS2108」と、Wi-Fi6（11ax）に対応した「VR-U300W」を設置。VLANで社内業務回線と一般通信回線を分離したネットワークを構築している。

導入商品



5年保証※
スマートスイッチ
8ポートモデル

BS-GS2108



VPNルーター
Giga 無線モデル

VR-U300W

※標準保証3年間、Web上の5年保証登録により2年延長

株式会社 バッファロー https://www.buffalo.jp　ホームページでさらに詳しい情報を発信中　詳しくは バッファロー　導入事例 検索

※掲載されている各製品名は一般に各社の商標または登録商標です　※デザイン・仕様等は改良のため予告なしに変更する場合があります